

第25期第17回常任理事会議事録

日時：平成2年4月23日（月）13:00～17:00

場所：気象庁観測部会議室

出席者：浅井、岡村、松野、古賀、木田、中村、村上、
河村

議事

A. 報告事項

1. 第16回常任理事会議事録は一部修正の上承認された。

2. 各委員会報告

「庶務」主なものは次のとおり

- ・研究助成公募 トヨタ財団 応募期間 4月1日～5月31日
- ・後援依頼 1件

「地球と水の国際シンポジウム」

主催 東海大学

期日 6月25日、26日

会場 東海大学交友会館（霞が関ビル33F）

- ・会員種別と会費の扱いについて
平成2年度総会提出議題の改正趣旨説明を「天気」4月号に掲載する。

「会計」庶務担当中村理事から報告

- ・会計監査
4月20日 関口、浜田両監事により行われた。
- ・3月および年度内収支の計算書について資料が提出され説明があった。

「天気」

- ・「気象学の手引」、「学会めぐり」等の企画があるがまだ実現できない。編集委員、書記の負担が大きく「天気」のページ数の増加については現在の状態が限界に近い。
- ・4月号からテストとして裏面が表にすけて出ないように紙質を良くする。

「気象集誌」

- ・68巻1号から印字密度を1,200 DPIに上げ、また、紙質も良くした。
- ・68巻3号には論文11点を掲載する。

「教育と普及」

- ・夏季大学のプログラムが決定した。
- ・夏季大学の案内は「天気」5月号に掲載する。
- ・後援については次のところから承認を得た。
気象庁 日本地学教育学会 日本気象協会

「講演企画」

- ・春季大会のポスターセッションでVTRの使用が2件予定されている。今後学会でVTRを購入するなど対応を検討したい。

「総合計画」

- ・AGU 金沢会議の進捗状況についてつぎの報告があった。

ア. 4月6日に合同委員会を行った。

- ・予算について、目途がついた。
- ・講演発表は全体で1,000件、国外者の発表は25～30パーセント位、気象関係は50件位の見込み。

イ. 気象学会実行委員会を組織した。

代 表 浅井理事長（海洋研）

代表補佐 木田（気象研究所）

事務局 木村（海洋研）

委 員 日吉（金沢地台）

同 安成（筑波大）

同 山岬（気象研）

同 村山（駒女短大）

同 河崎（大阪大）

「国際学术交流」

ア. 平成2年度上半期の助成は審査の結果5人に決定した。（決定後1人辞退）

イ. 次年度には助成予算の増額を検討する。

B. 審議事項

1. 会員の新規加入等について次のとおり承認された。

新規加入 個人会員 18名

退 会 個人会員 4名

2. 地球惑星科学関連学会合同大会について

地球電磁気・地球惑星圏学会会長および地震学会長から標記の大会が4月に開催されることと、来年以降この大会に気象学会も参加するようとの検討依頼があった。

検討の結果は、関連学会の合同大会の趣旨には賛成であるが、会場、時期などのことや総会との関連など困難な問題がある。当面、ジョイントの講演会・シンポジウムなどを行う方向で回答していくことになり、今後の対応について「講演企画委員会」で検討してもらうことになった。

3. 平成2年度の予算案・事業計画案および元年度の事業報告

細部の修正について説明があり承認された。

4. 藤原賞受賞者藤田哲也会員の代理受賞，記念講演について

藤田会員が出席できないので，代理受賞，記念講演について岡村理事に調整してもらうことになった。

5. 選挙制度に関する小倉会員の提案について

小倉会員から選挙管理委員会に選挙制度改正の提案があった。選挙管理委員会で検討の結果，

- 1) この問題は理事会での検討事項である。
- 2) 小倉会員の提案は「天気」の「会員の広場」に

発表し，会員の間で議論してもらうのが適当である。

となった。

常任理事会で検討の結果，これは選挙制度の問題に限らず，学会運営に関する役員制度の問題でもあるので，理事会で引き続き検討を行うこととした。

6. 第4回理事会の議題について

次の項目を議題とすることとした。

- ・AGU 金沢会議について
- ・地球物理学に関連する諸学会の合同大会について
- ・IAMAP の進捗状況
- ・学会運営のあり方
- ・総会議題について

北海道支部第8回夏季大学「新しい気象」開講のお知らせ

主催：日本気象学会北海道支部（札幌市青少年科学館と共催）

日時：平成2年7月27日（金）～28日（土）
両日共 10：00～15：30

場所：札幌管区气象台（27日）
札幌市中央区北2条西18
札幌市青少年科学館（28日）
札幌市白石区厚別中央1条5丁目
（地下鉄新さっぽろ，JR 新札幌下車直ぐ）

対象：気象学会員および小・中・高校の教育関係者，
学生（高校以上），気象愛好家，一般の方も歓迎致します。

受講料：500円

申込先：〒004 札幌市白石区厚別中央1条5丁目
札幌市青少年科学館
Tel. 011-892-5001

申込方法：ハガキに“新しい気象”申込みと朱書。氏名
年齢，職業，連絡先の住所，電話番号も明記

申込締切：平成2年7月10日

募集定員：60名

内容：約100分の講義が4講あります。その他に映画
と科学館内の気象レーダ，気象衛星受画装置および人工降雪実験装置の展示等の見学を予定しています。

編集後記：「天気」編集に関する最近の話題をお伝えします。まず「解説」ですが、「解説」は学会員に気象学の最新の成果や，関連する分野の興味深い話題を提供するという趣旨で企画されています。昨年，新たに40数題の話題を選んで執筆を依頼してきましたが，これが大分届いてきています。これからどんどん「天気」に掲載されてくると思いますので御期待下さい。

また「天気」では，「気象学の手引き」の掲載を計画

しています。これは，「これから気象学を勉強する人のための手引き」という趣旨で，各分野ごとに初心者に分かりやすく，最近の動向，参考書等を解説するものです。同手引きは，これまでに2度刊行されましたが，今回は特に1980年以降の話題を中心にとすることで計画しています。これについては，これから担当の編集委員が執筆依頼に入るとのことで，掲載はもう少し先になると思います。（S・E）